

唐津赤十字病院広報誌



2015 Vol.05

JANUARY

第5号

We hope a "Bright Future" 地域の明るい未来を願って

02 【お医者さんに聞きました!】



「脳卒中について」

04 【トピックス】 新病院建設工事進捗報告

05 【活動報告】 11月~12月

06 【各科紹介】 眼科・泌尿器科

08 【地域医療連携室】 かかりつけ医を持ちましょう

08 【健康レシピ】 しいたけとねぎのさっと煮



ご自由にお持ち下さい

TAKE FREE

お医者さんに
聞きました!

脳卒中について



脳卒中という病気をご存じでしょうか? 脳の血管に突然異常を来して、手足の麻痺や言語障害などの重い症状を引き起こす病気の総称です。脳卒中には大きく分けると、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の3つに分けられます。

脳梗塞とは (図1)

脳の血管が詰まってしまうため、そこから先の脳に血液が流れなくなり脳の一部分が死んでしまう病気です。高血圧、糖尿病、脂質異常という生活習慣病による動脈硬化が原因である場合が多くみられます。また、心房細動という不整脈のため心臓から血液の塊(血栓)が流れ出し脳の血管に詰まってしまうことが原因の場合もあります。いずれの場合も症状出現から治療開始までの時間が治療効果を大きく左右します。発症後4時間30分以内であれば、詰まった血栓を溶かして血流を再開することで後遺症を軽減する血栓溶解療法が可能です。できるだけ早期の受診が必要です。

脳出血とは (図2)

脳の血管が破綻し脳内に出血が起こる状態です。原因の多くは高血圧によるといわれています。脳出血に関しても、高血圧や糖尿病、脂質異常といった生活習慣病による動脈硬化が原因となります。また、その他、血管奇形などが原因として隠れている場合もあります。脳出血がひどい場合には出血を取り除くための手術が必要になることもありますので、早期受診し速やかに血圧をコントロールすることが重要となります。

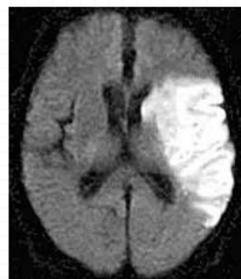


図1: 脳梗塞

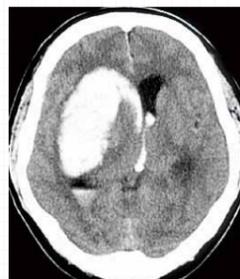


図2: 脳出血

くも膜下出血とは (図3)

脳の血管にできたコブ(動脈瘤)が破裂することで起こる場合がほとんどです。この病気の特徴は突然起こるひどい頭痛です。くも膜下出血を生じると多くの人が命を落とすか重度の後遺症を残し、元通りの生活に戻れる人は3~4割程度しかいない恐ろしい病気です。突然の激しい頭痛を覚えたら、一刻も早く病院へ受診し、くも膜下出血と診断されたら再出血防止のための手術を受けるのが救命のための最善の方法です。最近では脳ドック等で脳動脈瘤(図4)が破裂する前にみつけるケースが増えています。動脈瘤破裂の危険因子としては動脈瘤の大きさと場所が最も関与しますが、高血圧や喫煙、大量飲酒も出血の危険性を大きくするといわれています。未破裂動脈瘤が見つかった場合には動脈瘤の大きさや形、場所によって手術をした方がいいと判断されるものに手術を行います。当院でも未破裂動脈瘤の手術が増加してきています。

脳卒中は特に前触れなく突然症状が出現するため、その危険を事前に察知することは極めて困難であるといえます。

これまで述べましたように、脳卒中には高血圧、糖尿病、脂質異常といった生活習慣病が大きく関わっています。また、喫煙や大量飲酒も危険因子となります。生活習慣を見直し、危険因子をできるだけ少なくするように日頃から心掛けておくことが脳卒中の予防には何よりも大切なのです。



図3: くも膜下出血



図4: 脳動脈瘤

唐津赤十字病院 脳神経外科部長

鈴木 堅志

プロフィール

profile

佐世保市出身
佐世保西高校卒業
佐賀医科大学医学部卒業
脳神経外科医(日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医)
平成23年より唐津赤十字病院脳神経外科部長



正面玄関側(南西)からのイメージ

新病院建設工事進捗報告



北 東

西 南

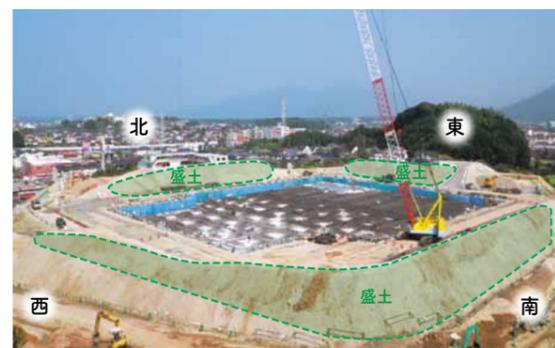
❖ 平成26年7月15日工事状況

当院は地域災害拠点病院として、災害時にも病院機能を発揮できることを新病院の重要条件としています。

そのため病院本館には、地震の際に病院機能の損失を最小限にできる“免震構造”を採用しています。

工事では、はじめに免震装置を設置するための免震層エリアを建物基礎とともに地下に構築します。

写真(左)は、地域医療センターエリア構想として造成いただいた病院敷地に、地下部分をつくるための掘削工事をはじめたところです。



北 東

西 南

❖ 平成26年9月29日工事状況

地下部分を掘削した土砂は周囲に盛土(写真(左)図示)して、地下部分の擁壁(地下外壁)が完成した時点で地盤面として埋め戻します。

盛土し埋め戻すことで、敷地外への土砂の搬出と掘削作業を軽減することができます。

写真(左)は、病院本館基礎・免震層工事で、超大型の120トンクレーンを使用しています。

工事現場では安全管理の徹底と、周辺住民の皆様への配慮を心掛けた作業をしていただいています。



北 東

西 南

❖ 平成26年11月29日工事状況

地下基礎の床面仕上げ完了。

擁壁(地下外壁)工事および貯水槽工事、免震装置ベースプレートの設置工事も順調に進んでいます。

写真(左)の図示部分が擁壁工事で、東側は完成、西側が型枠・コンクリート打設工事中です。

擁壁工事完成後に、擁壁の高さまで周辺盛土を埋戻し、病院の地面とします。

年末年始にかけて免震装置の設置工事をおこない、年明けには地上部分の工事へと順次着手する予定です。

工事期間中、近隣住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

住民のみなさんへ様々な病気をお伝えする サガテレビの「健康バンバン!」に出演!

11月
5(水)

今回は、野田第1内科部長が「ピロリ菌と胃の病気」をテーマにお話されました。ピロリ菌の正体や感染ルート、感染した場合どうなるのかについてわかりやすく説明され、リポーターの方も撮影の合間にいろいろと質問されていました。サガテレビのかちかちワイドのホームページにて見る事ができますので、ぜひご覧ください!



唐津市文化体育館にて 『市民公開講座』を開催しました。

11月
16(日)

今回のテーマは「感染がかわかる『がん』を知ろう!」でした。当院の萩尾産婦人科部長、井手第1内科副部長、宮原第3内科部長による講演をはじめ、特別講演として佐賀大学医学部医学部長の藤本一真先生に「胃がんについて」お話いただきました。来場者は237名と、多数のご来場を頂きありがとうございました。



ACTIVITY REPORT 活動報告 11月~12月

唐津消防署協力のもと 消防訓練を実施!

11月
19(水)

当院にて消防訓練を行いました。

まず、病棟にて火災避難訓練を実施。病棟からの火災を想定し、看護師の火元発見から模擬患者の避難までを行いました。実際に火災が発生した時と同様に大きい警報音がビュービューと病院中に響き、非常に緊迫した訓練となりました。

その後、屋外にて院内に設置されている消火ホースの使用方法や消火器体験が実施され、消火器体験では職員と一緒に志田原院長も参加しました。



災害現場でのコミュニケーションの重要性を実感

日本赤十字社九州八県支部 合同災害救護訓練

12月
7(日)・8(月)

「平成26年12月7日の午前3時、布田川・日奈久断層帯を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生」という想定の下、災害救護訓練を実施しました。医師はトリアージ、治療・処置を行い、看護師は医師の介助及び傷病者の看護、主事は搬送の手配、患者情報の把握、本部との連絡等を行いました。

他県の救護班及び自衛隊、警察官といった他職種との訓練の中で体感したことは、コミュニケーションの重要性です。情報が錯綜する災害現場での、より正確な、より素早いコミュニケーションが大事だと学びました。



眼科

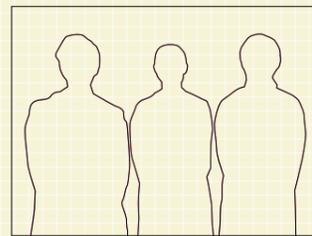
診療科の紹介

■スタッフ紹介

木村 篤仁 眼科部長
(昭和56年卒/白内障・緑内障・網膜疾患・斜視・弱視・ブドウ膜炎・糖尿病)

藤田 秀昭 医師
(平成20年卒/眼科)

大門 佳奈美 医師
(平成20年卒/眼科)



木村 大門 藤田



眼科の紹介

世の中の情報の90%以上は視覚を通じて広がっています。情報連絡ツールとしてスマートフォンと呼ばれる電話が出現して、その画面が大きくなります。聴く電話から見る電話となり視覚の重要性が増しています。この為視覚におけるストレスが強くなり視覚の情報収集における重要性が増すこととなっています。視覚に対するニーズに応じていくのが眼科の役目となっています。子供の視力の発育から白内障や緑内障など高齢者の視力保持と糖尿病や高血圧に伴う目の疾病や加齢に伴う加齢黄斑変性など以前より増して目の障害が増えています。これらの疾病に対応していくのが眼科です。

主な疾患

- 白内障**……目の網膜に像を結ばせるレンズ水晶体の疾患です。基本的には、手術治療が主となりますが、その適応には慎重さも必要とされます。
- 緑内障**……これは、目の光を受けて脳にその信号を送る視神経が障害されるものでその障害を招く誘因は、眼圧という目の内側の圧力です。この圧力をどこまでコントロールできるかで視力障害・視野障害の程度が決まる疾患です。毎日の点眼と欠かさず眼科受診検査とその解析が必要とされる疾患で当科では視野のデータをパソコンで管理・解析して患者さんに理解しやすい形で提供しております。
- 糖尿病網膜症**……糖尿病に由来する病気で糖尿病の管理が悪いと網膜に出血や腫れを起こして見にくくなる疾患です。これは悪くならないと自覚出来ないやっかいなもので自覚して眼科受診では手遅れとなる事が多いことから、糖尿病になると定期的に眼科受診が必要となるものです。
- 加齢黄斑変性**……加齢が原因とされています。見る為に大切な目の中心部黄斑に良くない血管が伸びて出血や腫れを起こす病気です。早期診断と注射による治療が一般化しつつあります。検査は、OCTという目の写真を撮るようにして目の中の組織が詳細に見ることが出来る検査これが主となります。

みなさまへ

眼科は、患者さまの見え方・見る力がその診療の基礎となります。正しく検査を受けていただく必要がありますので検査にご協力をお願いします。眼科は、目の中を詳しく診る必要がありますので瞳孔を大きくして中を見やすくする必要があります。瞳孔を開く目薬をして30分ほどお待ちいただきその後検査を受けていただきその後も瞳孔の開いた眩しい状態が4～6時間程度続きますので、眼科受診後細かな仕事やお車の運転が出来にくくなりますので、その点に配慮の上で眼科受診していただきたく思います。交通の不便な地区での眼科受診ですので安全な交通手段を確保のうえでの受診をお願いします。最後に眼科の受診は、眼に障害を感じた時ばかりでなく眼の合併症が危惧される疾患をお持ちの方は定期的に早めに眼科にかかれる事をお勧めします。

✦診療実績

平成25年度 DATA
外来患者延数……11,290人
入院患者延数……2,068人
手術数(手術室使用)……398件

泌尿器科

診療科の紹介



泌尿器科の紹介

当院泌尿器科は平成26年4月より常勤医師2名、非常勤医師1名で診療しております。佐賀県北部地区の地域支援病院として、尿路性器悪性腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石、感染症を主に治療しております。また、地域の前立腺健診と連携し、PSA検査により前立腺がんの早期発見に努めております。患者さま一人ひとりの身体的、精神的状況に合わせて治療を行っております。

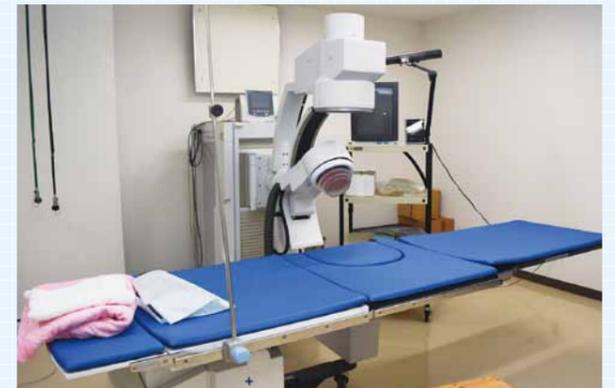
主な疾患

- 尿路性器悪性腫瘍**……経尿道的手術を中心に行っておりますが、病状に応じて手術、化学療法、放射線治療も行っております。
- 前立腺肥大症**……現在は内服治療が中心ですが、病状が重い場合には経尿道的手術にて対応しております。
- 尿路結石症**……結石の治療では、ESWLをはじめ内視鏡的摘出術を積極的に進めています。

PICKUP! ピックアップ!

体外衝撃波結石破碎術(ESWL)とは?

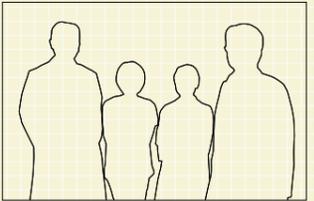
当院では体外衝撃波結石破碎装置を使い、腎・尿管結石を切らずに治す「体外衝撃波結石破碎術」を行っております。この装置は、体外から衝撃波というエネルギー波を結石に向けて照射し、筋肉や他の臓器を傷つけることなく、結石のみを粉々に破碎します。破碎された結石は尿と共に体外に排出されます。麻酔の必要や、術後の痛みがほとんどなく、体に傷跡が残らない画期的な新治療法であり、健康保険の適応にもなっています。



■スタッフ紹介

明利 浩行 泌尿器科部長
(平成2年卒/泌尿器一般、泌尿器科内視鏡手術)

西村 和重 泌尿器科副部長
(平成4年卒/泌尿器一般)



西村 中島 川崎 明利

✦診療実績

平成25年度 DATA
悪性腫瘍 ……26件
良性腫瘍 ……4件
結石 ……28件
その他 ……88件

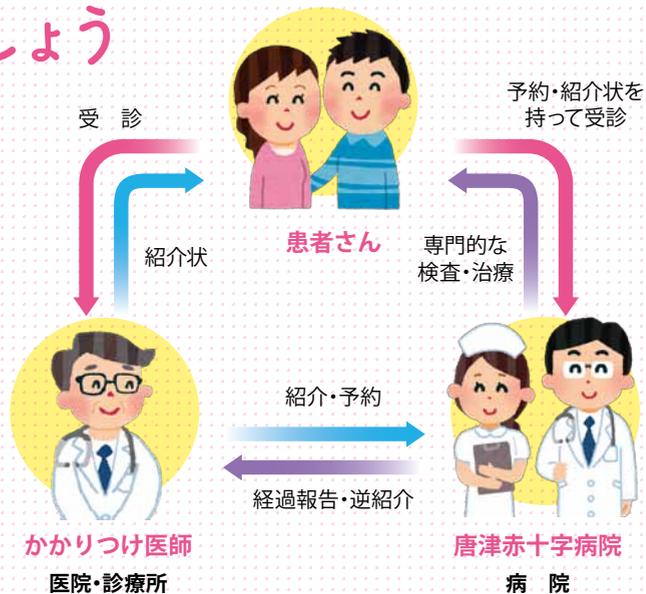
かかりつけ医を持ちましょう

日常的な診療を行ってくれる身近なお医者さんのことを「かかりつけ医」と呼んでいます。

普段の健康管理や日常的な病気の治療は、まずお近くの医院・診療所の「かかりつけ医」を受診しましょう。「かかりつけ医」が患者さんに高度で専門的な検査や治療が必要だと判断した場合には、当院を紹介してくれます。その時はぜひ「かかりつけ医」の「紹介状」をお持ちください。

かかりつけ医を持つことのメリット

- かかりつけ医はあなたの健康状態をよく把握しているため、最もふさわしい診療を受けることができます。
- かかりつけ医の紹介状をお持ちの患者さんは、特定療養費(¥1,620:税込)がかからず、当院でのご予約や診療がスムーズです。



当院で必要な検査や急性期の治療が終わり、症状が安定した患者さんにつきましては、お近くのかかりつけ医にその後の診療をお願いしています。その際には、当院の担当医が紹介状をご用意します。

健康レシピ紹介

しいたけとねぎのさっと煮

(1人分) 33キロカロリー 塩分0.2g



[監修] 管理栄養士 伊東 優 調理師 木下 きよ

しいたけは低カロリーで食物繊維が多い食品です。ねぎの茎にはビタミンCが多く、葉にはβカロテン(ビタミンA)が多いので免疫力を高める効果があります。しかしβカロテンは熱に弱いので、素早く火を通す調理方法が大切ですので、煮過ぎないように「さっと煮」でおねがいします。

作り方

- 1 しいたけは、4つ割りにする。ねぎは1cm幅程度の斜め切りにし、白い部分と青い部分とに分けておく。
- 2 フライパンにごま油を熱し、しいたけとねぎの白い部分を炒める。次に、ねぎの青い部分と酒・めんつゆを加えて炒める。
- 3 器に②を盛り、好みに粉山椒をふりかける。

材料(4人分)

しいたけ	120g	酒	12cc
ねぎ	160g	めんつゆ	20cc
ごま油	4g	粉山椒	少々

編集後記

今号の表紙は手術室の看護師さんです。さわやかな笑顔が印象的です。実はこの表紙の写真、創刊当初は写真部の方に撮影をお願いしていましたが、第4号から新しく購入した一眼レフカメラを使って、私たち広報推進室メンバーが撮影するようになりました。

おぼつかない操作、使いこなせない機能性、要領を得ない説明書、ピンボケばかりの写真、緊張気味でなかなか笑ってくれないモデルさんたち…約100枚の写真の中から選びぬいた渾身の1枚を表紙に使っています。

2015年は撮影技術の向上を目標に、練習を積んでいこうと思います。

広報推進室 大松 万佐也



唐津赤十字病院

日本赤十字社

〒847-8588 佐賀県唐津市二太子1-5-1 TEL.0955-72-5111

唐津赤十字病院

検索



[編集・発行] 唐津赤十字病院広報推進室

[表紙のひと] 看護師 中村さん